

百人一首で学ぶ楽しさ！

校長 濱 畑 昭 成

「朝ぼらけ～」上の句の5音で、バシ、バシッと札を取る。なかなかの鋭さ、敏感に反応して百人一首の下の句の札を取る。上級生だろうが下級生だろうが関係ない。シーンとした空気の中に白熱した闘いが繰り広げられる。児童生徒のここぞという集中力に対戦を見ている方が、呆気にとられるぐらいである。この日のために、児童生徒、句を覚え、練習試合を重ねてきている。それだけに負けると悔しいようだ。



1月24日に行われた、百人一首大会の模様であるが、今回も海老原心美さんが優勝した。4年連続である。とにかく彼女は百人一首が好きである。試合の中でも冷静で、サッサッと札を取っていく。あっと言う間もなく取るので相手を悔しさでなくあきらめの境地にさせてしまう。

またこの日は、同時に硫黄島にある「硫黄島カルタ」を行う。島の特徴をカルタにして、遊びを通して硫黄島の理解を深める。なかなかユニークな札もある。

「こんなのがめったにありません ゆっくりあったまる 東温泉」
「大昔 暴れていたとは思えない 美しい 丸くきれいな 稲村岳」
「くるぞ くるぞ あいつがやってくる あいつは神様 赤いメンドン」
「硫黄島に いりどりと ふんをそえる クジャクたち」
等々、ユーモアを混ぜてつくってある。学習を楽しさに変えて自然に身に付いていくような手立てや工夫が見られる。児童生徒の喜びは同時に教師にとっても喜びである。ガツツポーズや表情に一喜一憂する毎日である。

＜始業式＞

白石れもんさんが「愚公移山（ぐこういざん）どんなに大きなことでも、根気よく努力を続ければ必ず成し遂げられる」という意味の言葉を掲げ、がんばることを誓ってくれました。普段の生活の自分を変えたいと思い自分で調べたことにまたまた、びっくりしました。学ぶことのすばらしさを感じました。



＜餅つき大会＞～大切な文化の学び～

お正月の餅つきには、「年神様（としがみさま）」の力が宿ったお餅を食べることで神様の力を体に迎え、健康で長生きを願う」という意味が込められているのです。子ども会行事で石臼と杵で餅をつきました。つきあがったお餅をみんなで丸めてきれいな丸餅をたくさん作りました。みんなでおいしく食べました。



＜薬物乱用防止教室＞

薬物の怖さや薬の飲み方など、普段疑問に思っていることをたくさん質問したり、分かりやすく教えてもらったり、たくさん勉強することができました。



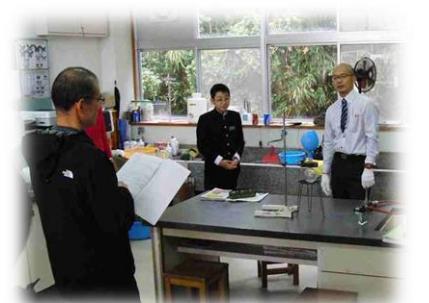
＜百人一首カルタ大会＞～白熱教室～

みんな一生懸命とってくれました。昼休みや放課後、おうちの人とも練習を重ねてきた成果を出していました。小学1、2年生もことわざにすいぶん詳しくなったと思います。皆さん、どの和歌(百人一首)が好きですか?三十一文字の中に込められた想いを感じることができましたか?



＜授業について学ぶ＞～武安先生の理科授業「空気の圧力を調べよう」～

「主体的・対話的で深い学び」が新しい学習のテーマです。他人と対話する中で考えをまとめたり、発見したり学力を伸ばす授業を目指しています。小学校と中学校の先生方が垣根を越えて授業について意見交換をしました。来年度から義務教育学校になります、小学校から中学校へのつなぎを生かした教育を進めていくことができるようになります。



HPには、他の写真も掲載しています。<http://www.mishimamura-sch.jp/mishimakko/>

「コロナウィルス」「インフルエンザ」厳重注意です！！
手洗い・うがい・マスク着用・早寝早起きなどの体調管理で予防しましょう。